

農業つて超楽しい♪

丹野 朝香

Tanno Sayaka

【出身中学校】

山形市立第十中学校

高校／普通
大学／法学

山形市出身。ソフトボールで湘南ベルマーレに入団。その後ベヤング女子ソフトボールクラブに移籍。平成24年4月から大石田町をフィールドに研修し、平成26年4月農業を開始。

実家から送ってもらおう山形の「食」は本当においしくて、自慢でした。
だから、山形をPRできる仕事がしたかった。それが「農業」でした。

朝香さん

大石田町で里芋の収穫に精を出していたのは、農業を営んで4年の丹野朝香さん。土作りに力を入れながら育てた里芋は、全体的に不作と予想された29年も、例年以上の出来栄えに喜んでいました。

「夏に収穫する尾花沢すいかも、甘くてみずみずしく、シャリシャリの食感がたまりません。」年々お客様の「おいしい」という口コミが広がり、取引先も拡大しています。「会社員ではないので、収入は自分しだいで増やすこともできますからね。」

農業を始めたきっかけは、ソフトボールの実業団を引退した朝香さんが山形に戻り、恩師を頼って母校へ相談に行った時の事でした。当時部活でバスの運転手をしていただいた大石田町の今野さ

んから「うちで農業をやってみないか」との提案が。その一言に興味をわき、山形県の農業支援制度を使って今野さんに指導を受けました。独立後の農業経営計画や、作物の先生、畑を借りるつながりなど、広く相談ののってもらいました。

「自然の中で体を動かし、のびのび働けるのが気持ちがいい」と朝香さん。時間ができる冬には、全国のお客様巡りに出かけます。そして師匠の今野さんが亡くなってからも、大石田にこだわり続けるのには、指導してくれた農業の先生方への感謝の気持ちがあります。時には農業仲間の元へ手伝いに行くことも。「農家さんはどこも人手がたりません。いっしょに農業を楽しんでやる仲間をもっと増やしていけたらいいですね。」

目標

他県の生産者と戦える、ブランド力のある作物づくりに取り組む。



朝香さんにQuestion /

Q. 中学生の頃好きだった教科はなんですか？

朝香 体育と理科が得意でした。体を動かすのが大好きでした！

お気に入り
毎日楽しく！

Q. 今、お気に入りの品を教えてください

朝香 中学生から始めたソフトボールは、高校、大学、実業団と、がんばってきました。現在もクラブチームに所属し、キャプテンとして活動を続けています。



朝の香ファームの加工品



朝香さんが育てたお米を使用して作ってもらったお味噌。甘く、風味豊かで、人気上昇中です。

朝の香ファーム
丹野さんが
主に作っているもの

すいか(50a)



米(40a)



里芋(10a)



そば(30a)